



マルイミライ

みんなつながる、まあるい未来。

マルイミライのシンボルマークは、それぞれ「お客さま」「社会」「丸井グループ」を表しています。



私たちは、
誰もが笑顔になれる、笑顔の輪が広がる
「まあるい未来」をめざしています。

丸井グループが現在取組んでいる「共創価値」の経営は、小売とカードの融合を通じて、お客さまはもとより、お取引先や地域社会の皆さま、従業員までを「パートナー」としてとらえ、お客さまの「しあわせ」を共に創っていくものです。この姿勢そのものは、1931年の創業以来、変わることはありません。しかし時代の変化と共に、私たちの生き方や暮らし方も変わっていく中、共創経営は、「お客さま」「社会」「丸井グループ」が重なり合い、つながり、それぞれの課題を解決していくことで、はじめて実現できると考えています。それが、私たちのめざす「まあるい未来」です。

マルイミライのDNA

革新と進化の歴史

私たちは創業から今日まで、時代ごとに変化するお客さまの「しあわせ」に合わせて、小売×カードというビジネスモデルを革新・進化させてきました。お客さまと共に、パートナーと共に、丸井グループが歩んできた歴史です。

家具・洋服×月賦分割払い



1931年
月賦商「丸二商会」からのれん分けを受け東京・中野に創業。月賦分割払いを通じて、生活必需品を気軽に購入できる商売をスタート



1955年
取扱製品を増やし、「三種の神器」テレビ・洗濯機・冷蔵庫など戦後のニーズに対応

創業
1931年→1972年

「豊かな暮らし」の向上

月賦からクレジットへ



1960年
月賦販売の近代化をすすめるため「月賦」を「クレジット」に改称し、日本初のクレジットカードを発行。発行当時の平均利用額は13,000円(当時の丸井大卒初任給は14,500円)



1962年
当時業界最大の総面積(6,825m²)の店舗を新宿に開店し、高度経済成長期のお客さまニーズに応える

「モノの豊かさ」を求める時代

企業の成長を支える人材



1971年
昇進挑戦制度(チャレンジ・プロモーション・システム)をスタートさせ、経営理念「人の成長=企業の成長」の源流となる従業員の能力開発に着手

首都圏店舗大型化



1974年
「ニュー新宿店(現 新宿マルイ本館)」を開店し、若者や中間所得層のニーズに対応

1985年
「上野店(現 上野マルイ)」を開店。「食遊館」を併設し食ニーズに対応

「QIQI」と赤いカード



1975年
「QIQI」を配した店頭即時発行のクレジットカード「赤いカード」は、DCブランドなど若者文化を象徴した新たな消費イメージの形成に寄与

1972年→1990年

若者の『ファッション文化』

ヤングの丸井



1986年
高校生向けの会員カード「丸井ジュニアクラブONE」を発足



1988年
若者ニーズにお応えしたヤングファッションの発信基地として、渋谷・新宿の基幹店舗を大型改装

ファッション通販を開始



1988年
カタログ通販誌「Voi」を発行。創刊号のテーマは「秋はパリジェンヌみたいに。賢くカタログショッピング。」

ライフスタイルのニーズへ対応



2006年
従来の「赤いカード」から「エポスカード」に転換。「若者×ファッション」中心から、衣食住などライフスタイル全般を支援



2010年
お客さま参画型の「ラクチンきれいパンプス」を発売。モノづくりを小売発想から生活サポート発想へと転換し、幅広い年代のお客さまのライフスタイルに応える

1990年代後半→2015年

豊かな『ライフスタイル』

循環型ファッションの取組み



2010年
マルイ店舗で「衣料品の下取り」をスタート。2013年からは「婦人靴の下取り」へと拡大し、お客さまと一緒に取組む環境・社会貢献活動「循環型ファッション」の仕組みを構築

お客さまと共に創る店づくり



2015年11月
「渋谷モディ」を開店。「衣食住」に加え「学び」や「体験」を取り入れた知的商業空間としてオープン



2016年春
お客さまとの企画会議や「コミュニティサイト」を通じ、新しい「店づくり」を本格化。多様化するお客さまニーズに対応「博多マルイ」が出店させていただく「KITTE博多」の完成イメージ
上記画像は日本郵便株式会社さまからのご提供です

『ココロの豊かさ』を求める時代

幅広い年代×ライフスタイルの店づくり



2007年
「有楽町マルイ」を皮切りに、お客さま参画型の店づくりを開始



2014年
ライフスタイル型店舗への対応をめざしたSC型第1号店の「町田マルイ」。雑貨・飲食などを強化

未来の姿を考える



2011年からグループ従業員全員が参加している「パワーオフファッションプロジェクト」を「マルイミライプロジェクト」に改名。2020年以降の日本の未来と丸井グループの役割を考える場に

2015年→2020年～

『すべてのお客さま』に向けて

ホスピタリティマインドのひろがり



高齢者や障がいのあるお客さまに対する、おもてなしの心と介助技術を学ぶ「サービス介助研修」。店舗従業員の99%が受講し、接客サービスのレベル向上をめざす

お客さま・お取引先さまと共に創り育むモノづくり



すべてのお客さまに喜んでいただくために、履き心地・おしゃれ・値頃感・サイズのニーズにお応えしたモノづくりを推進



サプライチェーン全体におけるモノづくりに配慮した、「CSR調達」の取組みを開始